

## 酒々井町特別職報酬等審議会 〔第1回会議記録〕

1. 日 時 令和元年10月17日（木） 午前10時から
2. 場 所 酒々井町役場中央庁舎3階会議室
3. 出席者 会 長 秋山義継  
副会長 川島貞夫  
委 員 宮野孝雄、齋藤甲一、藤崎美津江、櫻井照嘉  
小坂泰久酒々井町長（委嘱状交付・挨拶後退席）  
事務局 大塚総務課参事、越川総務課副参事
4. 議 題
  - （1）諮問事項について
  - （2）審議会の公開について
  - （3）審議方法及び審議スケジュール（案）について
  - （4）議員報酬の額並びに町長、副町長、教育長の給料の額について
  - （5）その他
5. 資 料
  - 資料1 特別職報酬等審議会委員名簿
  - 資料2 酒々井町特別職等報酬審議会条例
  - 資料3 審議スケジュール（案）及び主な資料
  - 資料4 諮問文書
  - 資料5 議会改革特別委員会調査報告書及び議会会議録
  - 資料6 特別職等給与・報酬額の経緯
  - 資料7 特別職等の報酬月額一覧（県内状況 H30.4.1現在）
  - 資料8 特別職等の期末手当支給割合（県内状況 H30.4.1現在）
  - 資料9 市町村長名、任期満了日、就任回数、所属党派、投票率、就任年月日
  - 資料10 議会活動概要（酒々井町議会）
  - 資料11 選挙公報（H31.4酒々井町議会議員選挙）
  - 資料12 平成30年度決算に係る主要成果説明書
6. 主な意見等
  - ・千葉県 の 町村の中 では、酒々井町の議員報酬はトップの方であった。そのようなことから、当町の議員報酬額は妥当という感じは受けている。
  - ・活動の内容が重要である。仕事をやらしてもらえれば千葉県の中でも高いレベルの報酬でもいいと思う。
  - ・類似団体比較等により考える必要がある。
  - ・将来、議員となる方にとって報酬月額26万5千円がどうなのかという視点も必要と

思う。

- ・議会改革特別委員会の報告書では、人口増の可能性もあることから16名のまま定数を削減しないことを議員が決定しているが、酒々井町の人口が増となっていく具体的要素は見当たらない。議員定数削減について、議会の中で何かもっと議論はなかったのか。
- ・議員を削減しても、議会の運営や活動を維持できる人数がわかれば定数を削減してもいいのではないか。
- ・議員定数について、例えば一人、二人減らしたらどうかという気持ちは持っている。
- ・議会としての機能が果たせれば定数を削減して、報酬を上げて構わない。
- ・人口と議員定数の関係について、佐倉市は、概ね人口6千人に対し議員一人。酒々井町は、概ね人口1,250人に議員一人となっている。
- ・千葉県は平成17年ころに大改革を行い、団塊世代の退職に備え退職金や給料も抑制してきた。少しずつ底上げはしてきたものの給与総額で見たときにこの10年くらい上がってないように思われる。
- ・平成3年ころバブルがはじけ、金融危機、リーマンショックと、民間企業において給料は相当下げてきているはずで、当町において報酬等の最後の改定を行った平成6年と比べても、民間企業の給料は恐らく下がっている。やっとアベノミクスで戻り始めているところ。そう考えると、この額は悪い額ではない。ただ、近隣市町村の状況や財政力等を考慮する必要がある。